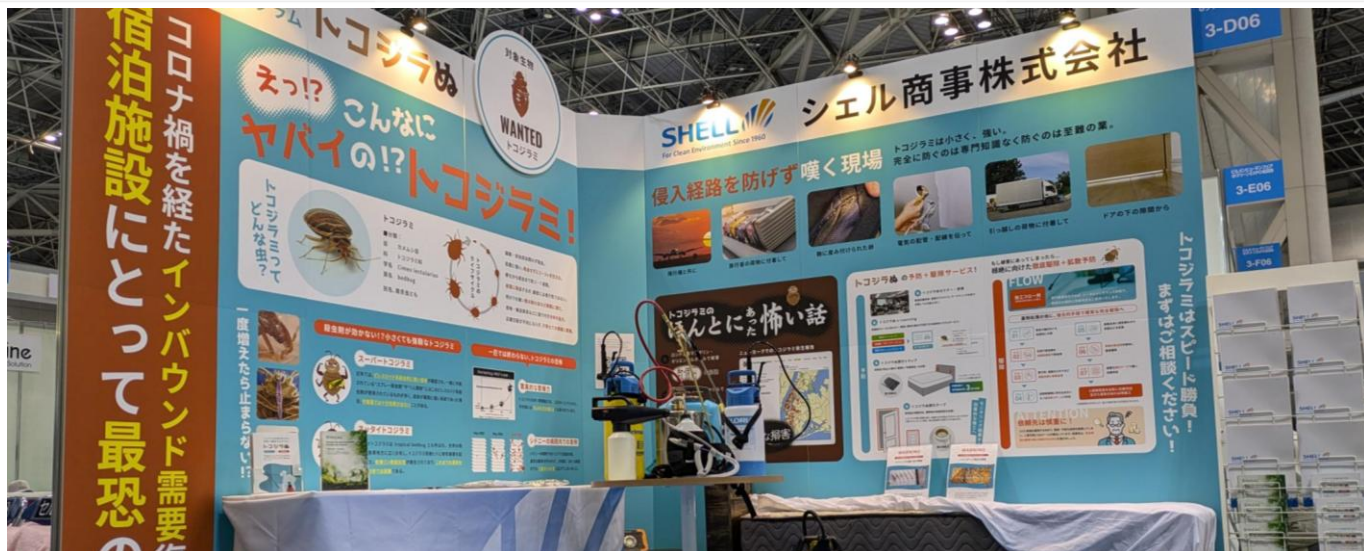


【Insectpia (インセクトピア)】とは: insect (虫) と utopia (理想郷) を掛け合わせた造語
『蟲たちを含む、地球上に生きる全ての仲間が快適に生きることができる世界』を創るため、SHELL グループがお届けする情報発信ニュースレター。



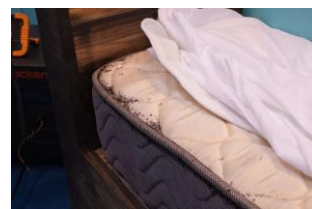
ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO2024に出展！

2024年11月20日から22日までの3日間、東京ビッグサイトで開催された『ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO2024』に出展し、弊社の商材やサービスを紹介しました。今回のニュースレターでは、展示会での活動内容をご紹介します。

『ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO』は、国内最大級のビルメンテナンス業界専門の展示会で、清掃・衛生等に関する最新情報を発信する場として全国から多くの企業が集結します。今年の展示会では、弊社独自のトコジラミに特化した予防・駆除サービス『トコジラミ』をはじめとする衛生管理サービスの紹介をメインに出展しました。

トコジラミ対策に特化したブースデザイン

弊社は害虫防除を主体とした衛生管理業務全般を提供しています。昨今、世界中を脅かしながらも、その生態や対処法があまり知られていないことから、トコジラミに対する知識や、弊社が提案する予防・駆除サービスの紹介を主としたブースデザインとしました。現場のリアルを伝えるため、ブース内にはベッドを設置し、仕掛けたトラップや、トコジラミ繁殖のサインである『血糞』を再現しました。また、トコジラミ駆除作業で用いられるスチーム機器のデモンストレーションも実施。



長年の経験で培った駆除作業時の留意点や作業工程などもご紹介しました。

来場者数とブースの反響

展示会全体の来場登録者数は13,005名。弊社ブースにはホテル事業者、卸売商社、清掃関連会社など、多岐にわたる分野の方々1,000名以上にお越しいただきました。特に6月にリリースした『トコジラミ誘引トラップ』への関心は高く、弊社ブースを目的に来場される方も多く、通りすがりに興味を持って立ち止まる方もいて、改めてトコジラミへの危機感の高さを感じました。一方で、まだトコジラミの生態や被害の実態については殆ど知られてなく、弊社スタッフの説明から驚きの声をあげられる場面も見受けられました。

次回は2月開催の国際ホテルレストランショーへ出展します。引き続き、プロの専門知識と実績を活かし、被害の現状や効果的な対策について広く周知していきたいと思います。今後とも、弊社の取り組みにご注目いただけますと幸いです。



持続可能な未来の創生

～GREEN WORK HAKUBA参加報告～

2024年11月5日～11月7日に白馬村観光局が主催するGREEN WORK HAKUBA（以下GWH）に参加しました。サーキュラーエコノミー実装に向けた取り組みを体感し、多くの学びと新たな視点を獲得の機会となりました。

GWHとは

GWHは、長野県白馬村で進められている地域活性化プロジェクトで、「サステナブルを遊ぶ、企画、つくる。」をビジョンに掲げ、サーキュラーエコノミー（循環型経済）をヒントに、持続可能で「楽しい」未来を目指す活動です。地域資源を活用しサステナブルな未来に繋げることを目指すこの取り組みでは、事業者や専門家が全国から集まり、カンファレンスやワークショップを通じて新しい知の交換を領域を超えて行っています。



五感で楽しむアクティビティ

白馬村の豊かな自然環境を活かしたセッションやフィールドワークが多数あり、地域の美しさと一方に潜む生々しい課題を体感することができました。

特に印象深かったのがプラントベースフードを牽引する不二製油様と白馬村がコラボレーションしたアクティビティ。岩岳散策をしながらラーメンを食するという大胆な企画です。ラーメンは植物性の原材料のみで調理されています。地域の食文化を存分に楽しめながらも、身体への負担が軽減されたラーメンです。味も美味しく、新たな食の可能性を感じることができました。

学びは感じることから始まる（Feel First, Learn Later）ことをまさに体感できるアクティビティでした。



〔写真〕植物性原材料のみが使用されたラーメン(左)と豊富な種類のトッピング(右)

GWHでの学びを未来に活かす

今回も多様なバックグラウンドを持つ参加者と持続可能な社会に向けたアプローチについて意見交換し、刺激もたくさん受けることができました。

幣グループも、志を共有する仲間とのネットワーク構築を加速させ、感じることから始まる啓蒙活動をすすめていきたいと思っています。

今月のInsect



写真/解説
中峰 空
8thCAL技術顧問
真面目昆虫館館長



アミメクサカゲロウ

（網目草蜉蝣）

アミメカゲロウ目クサカゲロウ

学名：Apochrysa matsumurayae

翅を広げると45mmほどになる大型のクサカゲロウの一種。平地の照葉樹林でよく見られ、冬には常緑広葉樹の葉裏で越冬する姿が観察される。なお、クサカゲロウの幼虫は肉食性で、アブラムシやコナジラミなどの農業害虫を積極的に捕食するため古くから害虫防除に利用されてきた。

Information

●最新リリース情報

8thCALがトコジラミに関する実態調査を実施しました！

→ <https://ur0.jp/OqDwY>

シェルグループの新サービス「トコジラぬ」をリリースしました！

→ <https://ur0.jp/vd5EN>

●Pick up 展示会・セミナー情報

ETHICAL DESIGN WEEK 2024

日時：2024年12月5日(木)～12月7日(土)※時間は日程毎に変動あり

詳細： <https://2ur.jp/8jE>

国際ホテル・レストランショー

（※シェル商事が出展します。）

会期：2025年2月4日(火)～2月7日(金)

会場：東京ビッグサイト（東京都江東区有明3-11-1）

Insectopia インセクトピアの配信登録はこちらから！

QRコードを読み取り後、登録フォームよりご登録ください。
ニュースリリースや採用情報、イベントなどの最新情報を
配信中です。

